

2006.11.5 晴れ 芦生の森・櫃倉谷（ヒツクラ谷） T夫妻 U夫妻 Tさん Fさん
Sさん Yさん Kさん 我が夫婦 車3台

アマヤドリの木（栃の木）



6:30 滋賀坂本発 8:30 芦生P着 9:30
林道終点 10時坂谷 11:05 スベノキ谷
11:30 杉尾二又 昼食 12:05 発 12:
25 林道 12:35 杉尾峠 12:45 発 13:
20 スベノキ谷 コーヒー休憩 14:50 ナ
カノツボ合流点 16:10P着 18時帰宅



紅葉1

今回は陣容が豊か故、杉尾峠を目指す。HPで見ていると峠に行けなくて断念組も結構あり、わかりにくいのかなと予想していたが、二又がわかれば、その間の急坂を登れば林道につくことが確認できた。但し、この急坂にはスズメマチの巣があるので要注意です。



紅葉2

谷の紅葉はいまいちでやたら枯葉の多かった。左の写真の紅葉は谷から見上げた山腹の紅葉であり、青空をバックに適度に楽しむことはできた。

スベノキ谷までは2回目ということもあり、2.5時間で着いた。二又に向け出発してからふたり連れと出会う。杉尾峠から降りてきたとのことだが、例の急坂で蜂がいるとのこと。ヤバイなと心配になる。



林道から杉尾峠への標識

どんつきの二又は結構分かりやすい。一応GPSで確認し、また、テープやかすかな踏み跡も確認した。コースがわかった安心と蜂の不安の複雑な心境で昼食をとる。Fさんの準備した炊き込みごはんと漬物の豪華昼食であった。急坂を登り始めてすぐに、蜂の存在に気づく。体調3 - 4センチで黄色のどうみてもスズメバチのようだ。



杉尾峠

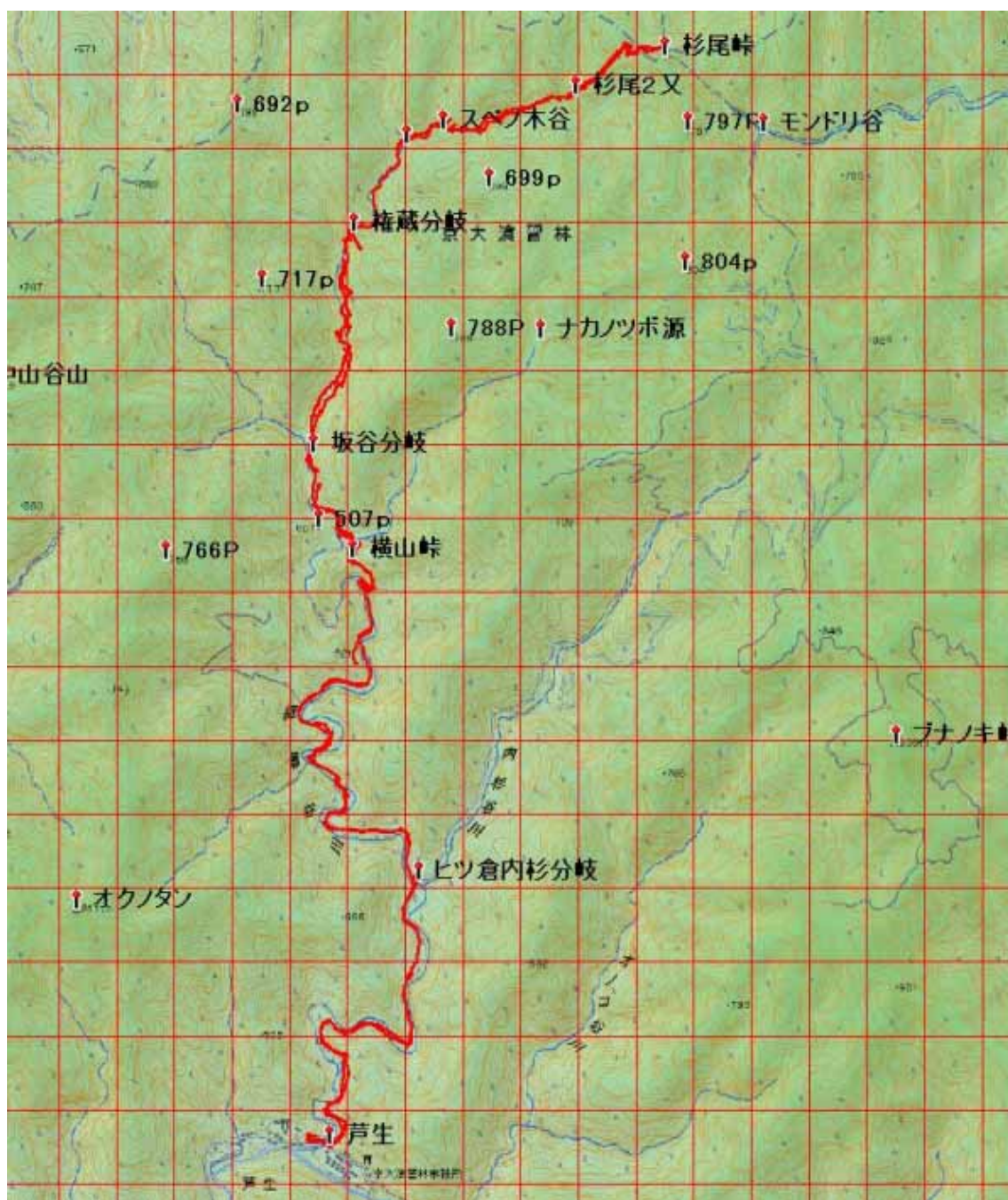
私は先頭ゆえ、用心しながら先に進み、倒木の根っこが登山道側に向き、その根っこの中に巣の存在を確認し、おとなしく、後ずさりしてその倒木から外れた。危険故、帰ることを提案したが、あっさり否決され、巣を避けて巣の裏側のブッシュを進むことにした。上部でもとの登山道にもどり、林道に到着。



枯葉の多い谷を下る

林道を左に行くと杉尾峠への標識がある。10分で杉尾峠。峠には上谷からきたハイカーが10人はいた。福井の山を拝み、記念撮影後帰路につく。もちろん、巣を避けて下ったのはいうまでもない。今回の杉尾峠攻略成功は陣容豊かなメンバーのおかげであったと思いま

す。このメンバーでなかったら、蜂のところで戻っていました。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) 及び数値地図 50mメッシュ (標高) を使用したものである。

(承認番号 平17総使、第290号)

トップページは<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。